

教員名	矢野 修一	所属学科	経済学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>「社会科学」の目的は、人間の存在の抹殺、自由の蹂躪をもたらす社会の仕組みの解明、より具体的に言えば「戦争と貧困」の撲滅にある。本ゼミでは、こうした社会科学の一分野としての「世界経済論」「国際政治経済学」を学ぶ。戦後の国際経済体制、国際金融、新興国の動向、国際開発協力などが主なテーマである。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>◇基礎演習（2年後期）：国際政治経済にまつわる基礎的文献、就活文庫（キャリア形成・労働問題関連書籍約15冊）の輪読。各種レポート提出。</p> <p>◇演習Ⅰ（3年）：洋書輪読（英語専門書）。TOEIC受験（5月）必須。進級論文執筆（テーマ自由。約1万5000字）。企業研究、他大学との合同ゼミに向けたサブゼミ。就活文庫輪読（約15冊）。</p> <p>◇演習Ⅱ（4年）：前期は専門書輪読。後期は卒業論文（テーマ自由。約4万字）に向けた研究発表。全員の卒論を論文集『経済学研究年報』として印刷・製本（保護者にも送付）。</p> <p>◇合宿：各学年合同の春・夏合宿（専門書の輪読・発表。バーベキュー等あり）。</p> <p>◇TOEICチャレンジ：ゼミ独自で成績優秀者表彰（730点以上は受験料キャッシュバック＋担当教員ポケットマネーによる鮎屋接待！）。</p> <p>◇他大学との交流：合同ゼミ・ディベート等（東大、大分大、下関市大など）。</p> <p>◇高大コラボゼミ：高経大附属高校との合同ゼミ。3年生が高経附3年生とともに日本企業のケーススタディを行い、本社訪問・インタビューを試みる。</p> <p>◇就活サポート：ゼミ卒業生によるエントリーシート作成指導、模擬面接等実施。</p> <p>◇ゼミ総会：ゼミ文集『梁山泊』を毎年発行。現役生・卒業生（＋家族等）が一堂に会する総会を2年に1度実施。毎回120名以上が全国各地から高崎に結集。 →これらを通じて、専門的研究能力、日本語・英語能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、社会常識、一般的教養などを身につけていく。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>学んだことが直接進路と結びつくわけでないが、2019年3月まで26期にわたる卒業生349人の卒業時の進路として多い順に挙げれば、一橋大学大学院（11）、京都大学大学院（9）、日本銀行（8）、東京大学大学院（6）、群馬銀行（6）、日本年金機構（4）、前橋市（4）、名古屋大学大学院（3）となる。国際的に活躍している人も多い。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>ロバート・ライシュ『格差と民主主義』東洋経済新報社（<u>格差拡大のからくりとその克服策を論ずる</u>）、施光恒『英語化は愚民化』集英社新書（<u>グローバル化礼賛への批判。母語での思考の重要性</u>）。</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>経済に無関心で生きるのは自由。でも経済と無関係で生きるのは不可能。反知性主義に貫かれた権力の甘言に惑わされず、世界中の人々とともに安らかなる人生を送るために、「社会科学としての経済学」をともに学ぼう。大学はゼミがすべて。</p>			